

平成28年度滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県スポーツ・レクリエーション大会の部
兼 関西マスターズスポーツフェスティバル2016

バウンドテニス大会開催要項

1. 趣 旨 県民各層に健康・体力づくりと交流の場を提供するとともに、バウンドテニスの一層の普及・定着を図り、身近に親しむことのできるスポーツ活動の振興に資する。
2. 主 催 滋賀県 大津市（予定） 大津市教育委員会（予定）
（公財）滋賀県体育協会 滋賀県レクリエーション協会
滋賀県バウンドテニス協会
3. 共 催 中日新聞社
4. 後 援 滋賀県スポーツ推進委員協議会
5. 主 管 滋賀県バウンドテニス協会
6. 期 日 平成28年 5月22日（日）
受 付 9：30～10：00
開会式 10：00～10：20
競 技 10：30～16：00
閉会式 16：00～16：30
7. 会 場 大津市瀬田公園体育館（大津市一里山6-9-1 TEL077-545-2811）
8. 種 目 8-1. 競技の部
8-1-1. チーム対抗BTラリー戦（年齢フリー、男女各3人）

8-1-2. ダブルス戦
（1）シニアの部（平成28年4月1日時点で満60歳以上）
① 男子ダブルス
② 女子ダブルス
③ 混合ダブルス
（2）フリーの部（平成28年4月1日時点で満16歳以上）
① 男子ダブルス
② 女子ダブルス
③ 混合ダブルス

8-2. 交流の部

8-2-1. バラエティダブルス (年齢、性別共にフリー。当日組合せ)

8-2-2. ジュニア・ファミリーコーナー (体験教室)

9. 参加資格

9-1. 滋賀県内在住者 又は 滋賀県内のバウンドテニス団体所属者
(交流の部だけの参加も可。)

10. 競技規則

試合は日本バウンドテニス協会「2015年バウンドテニス競技規則」によるほか、以下の大会競技規定による。審判は原則として相互審判とする。

10-1. 競技の部

(1) チーム対抗B Tラリー戦

- ① 1 チーム男女各 3 名の計 6 人で 1 分間のラリーを 3 回行い、総得点 (累計ラリー数) で順位を決める。
- ② 総得点が高点の場合は、3 ゲーム目の得点が多いチームを上位とし、それも同点の場合は 2 ゲーム目の得点が多いチームを上位とする。3 ゲームとも同点の場合は抽選で順位を決める。
- ③ 選手はチーム毎に 1 ～ 6 のゼッケンを胸と背中につけること。ゼッケンは管理者で準備する。

(2) ダブルス戦

- ① シニアの部、フリーの部に分けて、男子、女子、混合ダブルスそれぞれの個人戦とする。
- ② 同一人のダブルス戦種目への重複出場は認めない。
但し、交流の部との重複出場は認める。
- ③ 競技は原則としてトーナメント方式で行う。但し、参加人数によっては別の方式で行うこともある。
- ④ 試合は原則としてシニアの部：7 ゲームマッチ、フリーの部：9 ゲームマッチとする。フルゲーム目はタイブレークで行う。
但し、試合の進行状況によっては変更することがある。
- ⑤ ジュースは 2 ポイント差をつけるか、又は 6 ポイント先取で勝ちとする。
- ⑥ 男子の代わりに女子の出場、又は女子の代わりに男子の出場は認めない。
- ⑦ リーグ戦に於いて勝率が同じ場合は次の順で順位を決める。
イ) 当該ペアの対戦成績 ロ) 得失ゲーム数差
ハ) 得失ポイント数差

1 0-2. 交流の部

1 0-2-1. バラエティダブルス

(1) 事務局による当日組合せでダブルス戦を行う。

(性別、年齢他全てフリー)

(2) 競技の部との重複出場を認める。

(3) 試合方式その他原則として競技の部に準じて行う。

1 0-2-2. ジュニア・ファミリーコーナー

自由参加の体験教室形式で指導を行う。

11. 表 彰

1 1-1. 競技の部

(1) ダブルス戦各クラス、各種目の1位～3位ペアに賞状と副賞を授与する。

(2) B T ラリー戦優勝チームに、賞状と副賞を授与する。

(3) 同2位、3位のチームに賞状を授与する

1 1-2. 交流の部

バラエティダブルス戦の1位～3位ペアに賞品を授与する。

12. 参 加 料 (当日払込み)

滋賀県バウンドテニス協会に登録している選手 一人 1, 0 0 0 円

未登録の選手 一人 2, 0 0 0 円

但し、ジュニア・ファミリーコーナーのみへの参加は参加料無料

13. 申込方法

別紙様式の参加申込書に必要事項を記入の上、申込先迄郵送又はF A Xで申し込むこと。(交流の部は個人単独での申し込みも可。)

14. 申込期限

平成28年 5月10日 (火)

15. 申 込 先

〒528-0533 大津市朝日1丁目14-11

滋賀県バウンドテニス協会 (高橋 敏夫)

TEL/FAX 077-594-2343

16. そ の 他

1 6-1. 体育館用シューズを必ず着用すること

1 6-2. 競技中に於ける負傷等については、応急の処置とスポーツ障害保険の範囲内で対応するが、その後については責任を負わない。